

総務委員会の事業計画

1. 概要

日本ばね工業会は昨年記念すべき創立60周年を迎え総務委員会が中心となり、「弾む力を未来へ」のコンセプトに則り、21世紀の工業会及び会員各社の未来志向へのリ・スタートとなるべく、記念事業を企画し実行しました。

しかし、一年後の今日、「百年に一度」とも言われる嘗て経験した事の無い急激且つ急速な、世界同時不況の真只中にあります。今こそ60周年における「未来志向」に立ち戻り、工業会の未来の、ひいては会員各社の有るべき姿を創造する役割を担って行かなければならないと考えます。

本年度も基本的には役員会の決議に伴う実施案件を担当する。 現下の厳しい経済状況を踏まえ各種事業の効率化、経費節減のための意見集約を図り理事会へ提言する。

更に、会員ニーズに対応して機動的に活動を推進する方針である。

昨年12月に施行された改正公益法人制度への対応を進めるためにも、定款に定める事業への取り組みについて見直しを含めた検討を行い理事会へ提言する。

2. 活動の詳細

2.1 国際交流の推進

本委員会では世界のばね業界における、日本のばね業界及び工業会の存在を高める為にも積極的な対応、情報提供を図りたい。

本年9月26日に米国・ラスベガスで開催が予定されている国際ばね会議への参加を予定している。このほか中国ばね工業会総会ははじめ予定されている各種行事に参加し、国際交流、情報交換を図る。

2.2 改正公益法人制度への対応準備

昨年12月に施行された改正公益法人制度では今後5年以内に新制度に基づく法人への移行申請を行わなければならない。 それに備える為のワーキンググループを発足させ情報収集、検討を行い遅くとも3年後の申請に向けて準備する。

2.3 機関誌ばね編集方針策定

内外へのばねに関する情報発信の手段とするため掲載内容の一層の充実を図る。ホームペ

ージとの一体的な活用に努める。

2.4 ホームページの充実

情報公開及び伝達的手段として、ホームページを積極活用に努める。支部別に運営している会員ページでは支部情報のより一層の充実を図る。

2.5 「ばねの歴史」編纂、出版準備

「日本のばねの歴史（昭和59年発行）」以降の技術史、産業史を体系的に整理し、出版発行するための費用積み立て、準備を行う。

2.6 新規事業の検討

現下の厳しい経済状況を踏まえ体質強化事業、環境保全、安全に関する事業への取り組みについて検討し理事会へ提言する。